

令和七年 第十四回俳人協会石川県支部俳句大会

日時 令和七年三月三十日(日)
会場 石川県教育会館

大会賞

目印は白い山茶花我が更地

枡谷栄子

優秀賞

解体の柱柚子湯の火となりぬ

浜野絹代

競り落とす鰯へ屋号の札を投ぐ

北川禮子

努力賞

復興の槌音に摘む露のたう

北川愛子

賀状書く蛇のうねりを一息に

森悦子

留腕に手毬麩二つ春立てり

米田紀子

初春や生きたる故の水旨し

北川愛子

避難所の窓へ瞬く枯木星

大豊緑

坂本宮尾 選

特選

解体の柱柚子湯の火となりぬ

浜野絹代

目印は白い山茶花我が更地

枡谷栄子

競り落とす鰯へ屋号の札を投ぐ

北川禮子

入選

磯小屋は風訪ふばかり能登の冬

船本静江

観能の誘ひの電話梅二月

中村涼子

初日受く重機の爪の泥まみれ

中川雅雪

ふきのたう墓標となりし石一つ

辻昭子

起上り小法師仮設に去年今年

平田クニ子

大女優だつたと言ふも万愚節

加藤美栄子

船出待つふつと匂ひし皮ジャンパー

伊藤美音子

白山を遮るものなし初御空
初春や生きたる故の水旨し
風垣に添ひし冬芽の息を聴く

竹田 桐生
北川愛子
浦野美智子

中川雅雪 特選

避難所の窓へ瞬く枯木星

大豊 緑

中西石松 特選

初春や生きたる故の水旨し

北川愛子

高岡幸子 特選

ふだん着のやうな菜の花日和かな

三谷道子

高橋佳子 特選

賀状書く蛇のうねりを一息に

森 悦子

三谷道子 特選

目印は白い山茶花我が更地

枡谷栄子

南 恵子 特選

復興の槌音に摘む露のたう

北川愛子

宮田 勝 特選

大らかな先師乗りたる宝船

瀬川 恵

以上